

自己評価

		達成値	達成状況	具体的内容	採点（5点満点）	
					河野孝昭	木綿隆弘
達成目標	事業の実施結果	80%	基本となる翼および高効率垂直軸風車の代表的な翼端損失低減対策を施した4通りの翼端形状の翼の風車出力特性および翼一枚の荷重特性が解明。	基本となる翼および高効率垂直軸風車の代表的な翼端損失低減対策を施した4通りの翼端形状の翼のV形垂直軸風車の出力特性および翼一枚の荷重特性を明らかにすることを達成することを事前計画で設定していたが、出力特性については解明できたものの、翼一枚の荷重特性については、翼根部にかかる荷重は解明できたもののアーム接続部にかかる荷重については解明できていない。	4	4
	事業の成果・波及	80%	学会発表2件、論文掲載0本	学会発表については、事前計画通り、2024年11月の第46回風力エネルギー利用シンポジウムと2025年3月の日本機械学会北陸信越支部2025年合同講演会にて行った。論文掲載については、事前計画の1報を達成できておらず、執筆中である。	4	4
情報発信	事業の実施結果	80%	ポスターの代わりにパワーポイントファイルのPDFを配信、HP掲載	事前計画では、実施結果をポスターにまとめ、風力エネルギー学会垂直軸風車研究会のメンバーにメールで配信する予定であったが、ポスターではなく当該研究会での発表資料（パワーポイントファイルのPDF）を配信した。また、事前計画通り、実施結果と報告書を流体工学研究室のホームページに掲載した。	4	4
	競輪補助金による事業であること	80%	ポスターの代わりに配信した発表資料のPDF、学会発表の予稿に謝辞を記載。査読付き論文は執筆中のため、未掲載。HP掲載。	事前計画では、ポスター、学会発表の予稿、査読付き論文に謝辞を記載することを予定していたが、ポスターではなく垂直軸風車研究会の発表資料、学会発表の予稿に謝辞を記載し、査読付き論文は執筆中のため謝辞が未掲載である。流体工学研究室のホームページには、事前計画通り、謝辞を掲載した。	4	4